

第2学年 家庭科 学習指導案

日 時 2025年11月5日（水）

第5校時 13:30～14:20

対 象 第2学年C組 39名

会 場 2年C組教室

1 題材名

安全な住まいと安心な暮らし

2 題材の目標

- ・家族の生活と住空間とのかかわり、住居の基本的な機能、家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住生活の整え方について理解する。
- ・家庭内の事故や自然災害における家族の安全を考えた住空間の整え方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。
- ・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、住居の機能と安全な住まい方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実現しようとする。

3 題材の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
<p>①家族の生活と住空間の関りがわかり、住居の基本的な機能について理解している。</p> <p>②家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。</p>	<p>①家庭内事故や自然災害における家族の安全を考えた住空間の整え方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けています。</p>	<p>①家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、住居の機能と安全な住まい方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p>

4 指導と評価の計画（全8時間扱い）

時	目標	学習内容・学習活動	評価
1 ・ 2	○家族の生活と住空間との関りがわかり、住居の基本的な機能について理解することができる。	<ul style="list-style-type: none">・簡単な図などを活用し、モデル家族（A家族）の生活行為がどのような住空間で行われているか、話し合う。・和式と洋式の住空間の使い方で気付いたことを話し合う。・住居の基本的な機能について考え、グループで話し合い、全体で発表し合う。	ア-①【ワークシート】
3	○家族の安全を考えた住生活の整え方について問題を見いだ	<ul style="list-style-type: none">・モデル家族（幼児や高齢者を含むA家）の住空間について、危	イ-①【ワークシート】

	し、課題を設定することができる。	険な個所を図に記述したり、グループ内で話し合ったりする。 ・安全で快適な住空間について話し合い、題材の見通しをもつ。 ・家族の安全を考えた住空間の整え方について課題を設定する。	
4 本時	○家庭内の事故の防ぎ方など、家族の安全を考えた住空間の整え方について理解することができる。	・住生活副教材「住まいるプラン」の“危険見つけシート”で事故につながる危険な個所を見つけ、その要因を考える。 ・グループで「幼児」と「高齢者」に分かれて考えをまとめたり、話し合ったりし、考えを発表し合う。	ア-②【ワークシート】 ウ-① 【ポートフォリオ、行動観察】
5	○自然災害に備え、家族の安全を考えた住空間の整え方を理解することができる。	・地震の時の部屋の様子に関する動画を見て、地震への備えを考え、話し合う。 ・防災、減災の視点で部屋の家具を配置し、考えを発表し合う。	ア-②【ワークシート】
6	○家族の安全を考えた住空間の整え方について考え、工夫することができる。	・モデル家族（A家）の「家庭内の事故」や「自然災害」が発生した場合について、グループで「幼児」と「高齢者（」の視点から住空間の整え方について話し合う。 ・「自然災害（地震）」について、シミュレーションにより具体的な解決策を考える。	イ-①【ワークシート、行動観察】 ウ-①【ポートフォリオ】
7 ・ 8	○家族の安全を考えた住空間の整え方について、解決策等を評価したり、改善したりすることができる。	・「家庭内の事故」や「自然災害」が発生した場合について、「幼児」と「高齢者」の視点から住空間の整え方について発表し合う。 ・発表に対して、質問や意見交換をし、グループごとに新たな気づきを整理したり、解決策を改善したりする。	イ-①【ワークシート、行動観察】 ウ-① 【ポートフォリオ、行動観察】

5 生徒が主体的に学び続けるための工夫（協働的な学び）



○個人で調べたり考えたことを基に、話し合い活動を通して課題解決に向かわせる。

6 本時の指導（全8時間中の4時間目）

（1）本時の目標

- ・家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解することができる。

（2）本時の展開

	○学習活動 ○主体的に学び続けるための視点	□指導上の留意点 ◆評価
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> ○普段の生活における住空間の危険な箇所について発表しあう。 ○本時の学習課題を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> □家庭内の事故について事前に家族にインタビューし、家族の安全を考えた住生活の整え方への関心を高める。 □家庭内の事故が命を落とす事故につながる事例を示し、家族の安全を考えた住空間を整えることの必要性に気付くようにする。
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> ○住生活副教材『住まいのプラン』の“危険見つけシート”で事故につながる危険な個所を各自で見つけ、その要因を考える。 ○グループで「幼児」と「高齢者」に分かれて考え方をまとめるなどの話し合い活動をする。 	<ul style="list-style-type: none"> □一緒に住まう構成員には「幼児」や「高齢者」もあり得ることを踏まえ、幼児の身長や体型、興味・関心、高齢者の身体機能の低下等と結び付けて考えることが大切であることに気付くようとする。 □ワークシートには、自分の考え、友達の考えで分けて記入するようにする。
	<p>協働的な学びを取り入れた学習活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○3~4人グループで活動 ○話し合いでまとめた内容を発表用にスライド作成する（記録担当） 	<ul style="list-style-type: none"> □あらかじめ教員が「幼児」「高齢者」とで指示を出し、自分のグループの担当内容で話合わせる。 □グループ内で進行係、記録係、発表係を作り、話し合いを進める。 ◆アー②【ワークシート】
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭内の事故の防ぎ方についてグループごとで発表する。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習のまとめ、振り返る。 	◆ウー①【ポートフォリオ、行動観察】